

■ 第三次環境基本計画について

2006年4月に、第三次環境基本計画が閣議の決定を経てとりまとめられました。サブタイトルを「環境から拓く新たなゆたかさへの道」とし、環境を軸足として今後の経済・社会の形成を図ろうとするものです。

新環境基本計画は環境基本法(1993年)第15条に基づくもので、1994年に第一次計画、2000年に第二次計画が定められて今回の第三次の計画に引き継がれたものです。

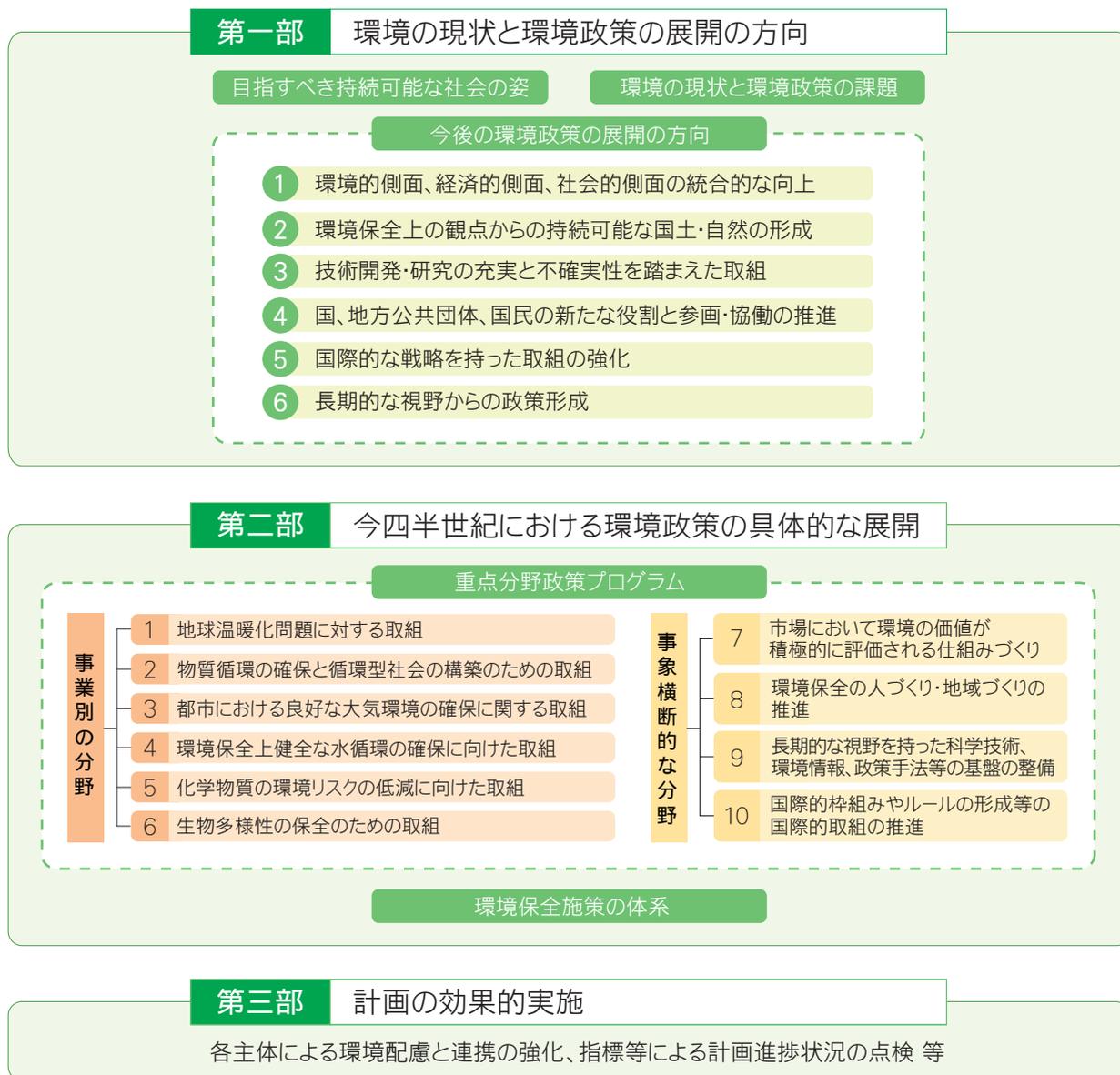
なお、環境基本法の前身は、1967年制定の公害対策

基本法ですが、地球環境保全や環境基本計画策定等の枠組みは、規定されていませんでした。

また、環境基本計画とほぼ同時に、第3期科学技術基本計画(文部科学省)もスタートしており、重点推進4分野として、ライフサイエンス、情報通信、ナノテクノロジー・材料と並んで「環境」が取りあげられています。

環境は、今や、大きな政策課題となっています。

■ 新環境基本計画の構成 ■



(環境省『環境基本計画－環境から拓く新たなゆたかさへの道－のあらまし』より)